



ふるさと笠松の「ちょっといい話」86号



「鮎鮎街道ウオーク」で、おもてなしをしました。

9月23日(火)の秋分の日、第6回鮎鮎街道ウオークが実施されました。素晴らしい秋空の下で、たくさんの方々が参加してくださいました。今年は福祉会館前でも宿次(しゅくつぎ=荷の受け渡し)の様子が再現され、多くの方々が関心を持って見学されました。

道徳のまち笠松の委員会や推進会議の方々も、3つの「おもてなし」の心で熱烈歓迎をいたしました。1つ目は「冷たい飲み物のおもてなし」です。2つ目は「作品によるおもてなし」です。3つ目は「笠松町の情報の提供によるおもてなし」です。ウオークの参加者に「おもてなし」の心が届いたことでしょう。さらに、笠松町の素晴らしさも印象づけることができたと思います。町民の皆さんの「笑顔のおもてなし」をとともうれしく、ありがたく思っています。来年も「笑顔のおもてなし」をよろしくお願いいたします。(「おもてなしの作品提供者」は紙紐バンド工作は黒田保男様、ちりめん細工は岩井栄様・英子様、流木工芸は澤田正良様です。ありがとうございました。)



各小中学校から5人ずつの希望者が、行列を作って、鮎鮎の入った荷を運びました。

(笠松町 福祉会館前にて)



↑冷たい飲み物によるおもてなし



↑作品によるおもてなし



↑道徳のまち笠松の紹介パネルによるおもてなし



↑笠松みなと公園まで頑張ってくださいね。

平成26年度 鮎鮎街道ウォークの様子



↑道徳のまち笠松の紹介パネルの様子です。



↑冷たいお茶によるおもてなしの様子です。



↑宿次直前の緊張時の様子です。



↑福祉会館前で休憩をしてみえる様子です。



↑ちりめんや流木の作品に見入って見えますね。



↑もうすぐ出番ですよ。緊張しますね。



↑紙紐バンド工作は人気です。



↑宿次の口上も無事に終わってホッとしたね。